

第34回 山形県ジュニア選抜空手道選手権大会実施要項

1. 主催 山形県空手道連盟
2. 後援 山形県教育委員会 (公財)山形県スポーツ協会 (公財)山形市スポーツ協会
山形新聞社 NHK山形放送局 山形放送 山形テレビ テレビユー山形 さくらんぼテレビ
(予定)
3. 主管 村山地区空手道連盟
4. 日時 令和5年11月12日(日) 午前9時30分 開会式及び競技開始
午後3時00分 終了予定
(終了後、中学生選抜大会予選会開始)
- ※大会役員・補助員入場・集合時間 午前8時00分
午前9時10分 審判会議(本部席横)
- ※選手及び一般入場開始時間 午前9時00分
- ※監督入場時間 午前8時50分 監督会議(アリーナ後方)
5. 会場 天童市スポーツセンター アリーナ
〒994-0004 天童市大字小関1230 TEL 023-654-6100

6. 競技種目

(1) 形競技 (個人戦 10区分、男女別)

- ・中学3年生の部・中学2年生の部・中学1年生の部・小学6年生の部・小学5年生の部
- ・小学4年生の部・小学3年生の部・小学2年生の部・小学1年生の部・幼年の部

(2) 組手競技 (個人戦 10区分、男女別)

- ・中学3年生の部・中学2年生の部・中学1年生の部・小学6年生の部・小学5年生の部
- ・小学4年生の部・小学3年生の部・小学2年生の部・小学1年生の部・幼年の部

参加申込後、新型コロナウイルス感染拡大防止のためやむを得ず種目数が変更になる場合は、所属長及び申込責任者に連絡する。

7. 参加資格

- (1) 山形県空手道連盟加盟団体の選手で、全空連会員登録済みの者。
- (2) 選手及び監督はスポーツ傷害保険に加入していること。
- (3) 監督はあらかじめ届出があった者とし、未成年者は認めない。
- (4) 監督は1団体4名以内とし、以下の通り監督人数を制限する。

参加実数 1～7名	監督1名
参加実数 8～14名	監督2名以内
参加実数 15～21名	監督3名以内
参加実数 22名以上	監督4名以内

※参加実数とは選手数である。(同一選手が形・組手に出場しても1名) また、会場へ入場する監督の人数は選手数を超えてはならない。(入場している選手が1名の場合、監督も1名のみ入場)

8. 出場制限

- (1) 形競技は各区分1団体6名以内、組手競技は各区分1団体5名内とする。但し、形・組手競技共に本年度の山形県ジュニア空手道選手権大会3位以内の入賞選手は出場制限の枠外とする。(枠外対象選手は参加申込書に「ジュニア2位」等の注記を加えること)
- (2) 未就学児の試合参加について、組手は年長以上とし、全空連会員登録者のみ参加を認める。

9. 競技規定

- (公財)全日本空手道連盟競技規定に準拠し、細部は山形県空手道連盟申し合わせ事項による。
- (1) 形競技、組手競技ともにトーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。

(2) 形競技

- ① フラッグ制とし、審判員は3名又は5名とする。
- ② 小学生
 - ア 準々決勝までは基本形から選択し、同じ形を繰り返し演武できるものとする。
 - イ 回戦に関わらず、準決勝以上は全空連第1・2指定形及びこれまで演武していない基本形から選択し、同じ形を繰り返し演武できるものとする。但し、幼年及び小学1・2年生に限り、決勝まで同じ形を繰り返し演武してもよいものとする。
- ③ 中学生
 - ア 1・2回戦は基本形及び全空連第1指定形から選択し、同じ形を繰り返し演武できるものとする。
 - イ 3・4回戦は基本形及び全空連第2指定形から選択し、同じ形を繰り返し演武できるものとする。但し、1・2回戦で用いた形は使用できない。
 - ウ 回戦に関わらず、準決勝以上は基本形を除き、これまでに使用していない得意形を選択し、同じ形を繰り返し演武できるものとする。
- ④ 連続して試合を行う場合のインターバルは1分間とし、赤と青が入れ替わる場合は帯を交換してから1分間とする。

(3) 組手競技

- ① 競技時間は1分間フルタイムとする。但し、参加人数と競技日程で変更(短縮)せざるを得ない場合もあるため、その際は審判長から通告する。
- ② 勝敗は、競技時間内に6ポイントを先取した場合、あるいは反則・棄権・失格又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。競技時間終了時に同点で「先取」がない場合は「判定」をとって勝敗を決する。
- ③ 安全具は(公財)全日本空手道連盟検定品とする。違反した場合は失格とする。
ニューメンホー(VI以上)、ボディプロテクター(着用は道着の内)、赤・青拳サポーター(小学生は赤・青リバーシブル拳サポーター)、シンガード・インステップガード(色は白色のみ)、男子はセーフティカップを着用すること(小学1・2年生は監督の判断に委ねる)。
※マウスシールド(メンホー用口元シールド)の着用は任意とする。
- ④ 下段(下腹部)への攻撃及び倒した相手への蹴り技はC1の反則とする。
- ⑤ 小学生の足払いはC1の反則とする(崩しも足払いとみなす)。また、足払いをしようとした場合はC2の反則とする。
- ⑥ 連続して試合を行う場合のインターバルは1分間とし、赤と青が入れ替わる場合は防具等を交換してから計測する。

(4) 異議申し立て

競技規定組手競技第11条並びに形競技第7条について、本大会は以下の通り申し合わせる。

- ① 判定について審判団に異議申し立てはできない。
- ② 審判の手続きに規定違反があった場合、監督は拳手のうえ口頭でコート主任に異議を申し立てること。
- ③ 異議申し立ては、手続き違反があった時に即行うこととし、次の試合に入った場合は受け付けない。

10. 服装

- (1) 選手は競技規定に則り清潔な白の空手衣を着用すること。
- (2) 選手は金属やプラスチックなどのヘアバンドやヘアピンの他、競技の安全を欠くと思われる物品の装着は禁止する。
- (3) 選手は全空連検定の赤帯・青帯を着用すること。帯は主催者では準備しない。
- (4) 感染症対策として選手同士の安全具や帯等の共用は認めない。
- (5) 監督は県連指定の腕章を装着すること。大会当日はIDカードを貸与する。
- (6) 監督は空手衣を着用しなくてもよいが、監督にふさわしい服装(ジーパン、短パン、スカート等は不可)をすること。
- (7) 選手及び監督の不織布マスク着用は個人の判断に委ねる。

11. 審判員

- (1) 審判員は山形県空手道連盟所属の(公財)全日本空手道連盟公認審判員とする(出場団体は2名以上の審判員を派遣すること)。

12. 表彰

- (1) 各種目第5位(ベスト8)まで表彰し、副賞は3位までとする。
- (2) 入賞者の表彰は競技の終了した種目から順次行う。

13. 負傷措置

- (1) 選手は「健康保険証」を持参すること。
- (2) 負傷者が出た場合、応急措置は行うが、それ以上の責任は負わない。

14. 参加費

- (1) 1種目(1名)2,000円
- (2) 参加申し込み後、諸事情により大会が開催されない場合のみ参加費は返却する。

15. 申込方法

申込書は県連HPよりダウンロードし、所属団体ごと取りまとめ電子メールで提出すること。参加費は下記郵便口座に振り込むこと(領収書が必要な場合は申込書に記載)。なお、締め切り後の申し込みや変更は一切受け付けない。

【申込先】 村山地区空手道連盟 大場 朗子
E-Mail: toroq_yamagata@yahoo.co.jp
※件名を『〇〇道場 ジュニア選抜申込』と記載すること。

【振込先】 山形銀行 山形北営業部
(銀行コード) 0122 (店番号) 150 普通 (口座番号) 15784
村山地区空手道連盟 (ムラヤマチクカラテドウレンメイ)

16. 申込期限 令和5年10月6日(金) 必着 (参加料振込も含む)

17. 連絡事項

- (1) 競技場には競技役員、審判員、補助員、選手、監督のみ入場。
- (2) 監督は、競技役員・審判員を兼ねることはできない。
- (3) 監督は、円滑に大会運営が行われるよう選手、一般入場者(付き添い等)を管理・統括すること。
- (4) 競技進行やアナウンスには十分注意し、選手集合時間に遅れないこと。また、係員の指示に従うこと。
- (5) 帰りの際は各自ゴミや不用品を必ず持ち帰ること。
- (6) プログラムは当日監督会議にて配布を予定とする。
- (7) 貴重品は身から離さずに、自己管理をしっかり行うこと。
- (8) 大会役員・補助員の集合時間は8:00予定。
- (9) 本要項の内容は所属団体長が責任を持って選手及び監督に対し周知徹底すること。
- (10) 大会会場には暖房設備はありますが、防寒対策を行った服装を推奨。なお、会場内は火気厳禁。
- (11) 本大会における提出書類一覧
 - ① 参加申込書: 10月6日(金)まで提出
- (12) 問い合わせは下記担当まで。メールで問い合わせの場合は団体名と担当者名、連絡先を記入のこと。
また、問い合わせの前に要項・関係文書や山形県空連申し合わせ事項等を確認すること。
大会全般に関すること(申込み以外) 大会運営委員長 安達 智也 tomo.adc@d3.dion.ne.jp
大会申込みに関すること 大会事務局 大場 朗子 toroq_yamagata@yahoo.co.jp